

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った検体を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている検体を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	十二指腸乳頭部癌におけるエピジェネティクス制御機構の研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	大野輝之 (分子病理学講座 大学院生、愛媛大学医学部附属病院病理診断科 助教)
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方	2004年1月から2025年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち 十二指腸乳頭部癌と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、治療状況 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った病理組織検体。
研究の概要 (目的・方法)	パラフィン包埋検体を用いて Visium トランスクリプトーム解析を行い、十二指腸乳頭部癌の mRNA 発現を網羅的に検索します。また HE 染色及び免疫染色を行い、癌細胞とその周囲の細胞で高発現している蛋白を調べます。その関連を研究し、癌の悪性度などに繋がる因子を解析します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2024年12月18日 第1版

	一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院病理診断科 大野輝之 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5622